

地域脱炭素 ステップアップ事業

環境省「地域脱炭素ステップアップ事業」について

ステップアップ事業目的

全国での地域脱炭素の取組の実践をより広げていく観点から、都道府県が主導し、管下の市町村を巻き込みながら具体的な事業構想や実施手法等を検討するためのモデル事業

環境省

支援

- ・ 事例の情報提供
- ・ 事業の検討支援
- ・ 有識者の紹介

都道府県

巻き込み

- ・ 研修会開催
- ・ 事業検討 等

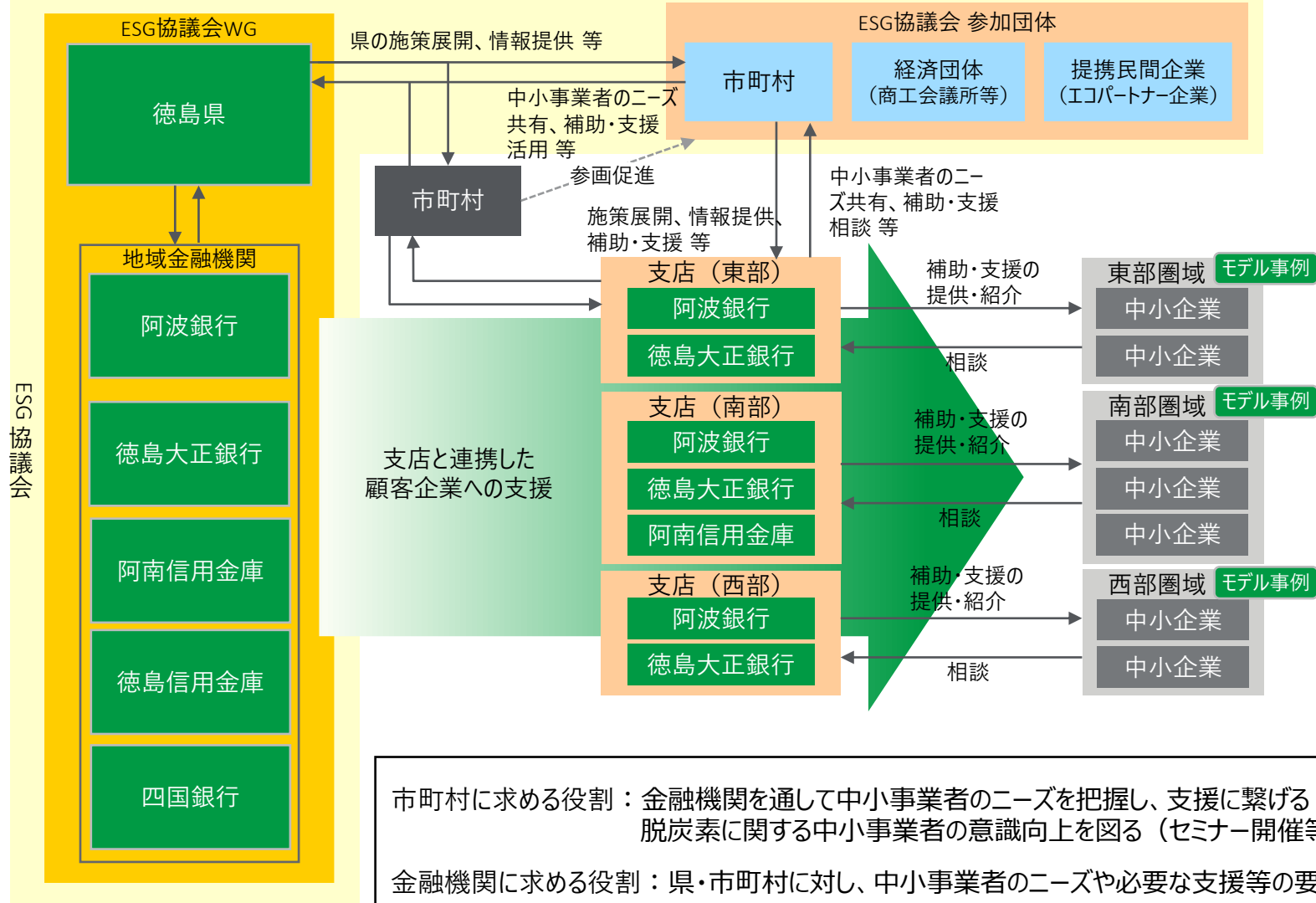
市町村

本県における現状・課題

- 脱炭素に関する取組状況は、市町村ごとに大きな差がある。
- ゼロカーボンシティ宣言は5市町、地方公共団体実行計画（区域施策編）は5市町村にとどまる。
- 徳島県では脱炭素に関連する様々な補助・支援メニューを既に用意しているが、活用実績の少ない補助・支援メニューがある。

既存の体制（ESG協議会）を活用した官民連携研修

目指す支援体制



モデル事例を全県下へ波及

研修のゴール及び本研修で想定する分野

研修ゴール

1. 徳島県の脱炭素政策の方向性と脱炭素に向けた補助・支援メニューを知ること
2. 市町村と金融機関の官民連携に向けてお互いの考えや想いに触れること
3. 今後、自分たちにできる脱炭素に向けた取り組み内容について考えること

本研修で想定する分野

○製造業分野

例（GXとくしま推進資金）

脱炭素経営への転換や環境配慮型の新製品開発に関する中小事業者の資金調達を支援

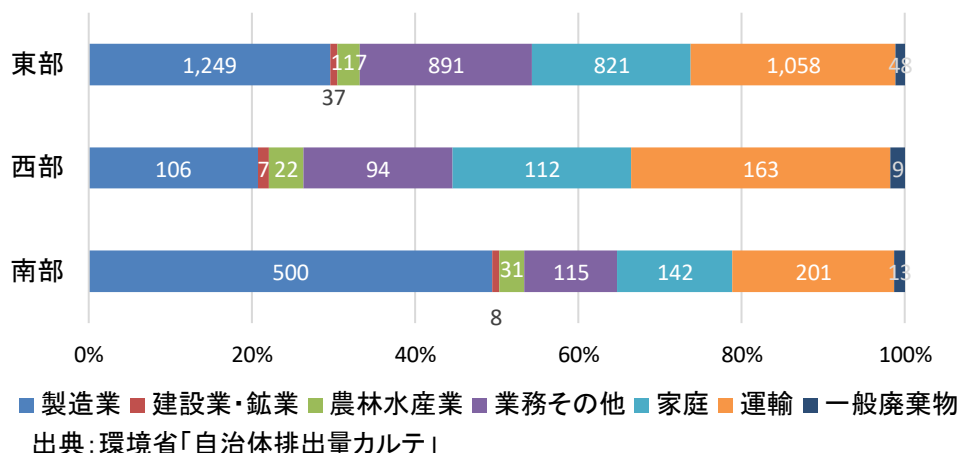
例：中小事業者等の省エネ診断、排出量削減計画策定についてサポート

○林業分野

例：自治体間連携による森林整備等

森林が無い自治体の森林環境譲与税を活用し、森林のある市町村の森林整備・カーボンオフセット事業を実施

（参考） 部門別CO2排出量割合(令和3年度)



市町村別森林面積率*

市町村名	森林面積率	市町村名	森林面積率	市町村名	森林面積率
那賀町	95%	東みよし町	79%	板野町	46%
海陽町	91%	美馬市	79%	上板町	35%
三好市	90%	佐那河内村	69%	徳島市	26%
美波町	89%	勝浦町	68%	小松島市	14%
上勝町	88%	吉野川市	57%	石井町	11%
牟岐町	86%	阿南市	54%	松茂町	0%
神山町	86%	阿波市	53%	北島町	-
つるぎ町	86%	鳴門市	52%	藍住町	-

* 森林面積総数/市町村総面積*100

研修の全体構成

	第 1 回（10月1日）	第 2 回（12月2日）	第 3 回（1月16日）
各回の目的	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 徳島県における脱炭素政策の方向性、県の補助・支援メニュー、市町村に期待する役割の周知 ✓ SU事業で焦点を当てる領域の事例紹介 ✓ 市町村と金融機関の顔合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 製造業等における取組に関するワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 林業分野等における取組に関するワークショップ
参加者案	徳島県（脱炭素の関連部署） 市町村（脱炭素担当、企画担当など） 地域金融機関（3地銀、2信金）	徳島県（脱炭素の関連部署） 市町村（脱炭素担当、企画担当など） 地域金融機関（3地銀、2信金） 1グループ4-5名程度×5グループ計20-25名程度	徳島県（脱炭素の関連部署） 市町村（脱炭素担当、企画担当など） 地域金融機関（3地銀、2信金） 1グループ4-5名程度×5グループ計20-25名程度
時 場 所	アスティとくしま	阿南市役所 3時間30分程度/対面	三好保健センター 3時間程度/対面
コ ン テ ン ツ	<ul style="list-style-type: none"> ● 国の脱炭素政策と支援事業について ● 徳島県の脱炭素の取組 ● 事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 阿南市（脱炭素施策と地域金融機関との連携協定について） ➢ 阿波銀行、徳島大正銀行（市町村と地域金融機関との連携協定・協定に基づいた取組、森林保全の取組） ➢ 兵庫県伊丹市（製造業分野：金融機関と連携した取組事例） ➢ 奈良県田原本町（林業分野：森林譲与税を活用した自治体間連携による森林整備等の推進） ● ミニワークショップ（市町村と金融機関の顔合わせ） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造業等の分野における中小企業の成功事例 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 阿波銀行（脱炭素経営のメリット、脱炭素経営に取組む企業の紹介等） ➢ 竹内水産（脱炭素経営の試行と気付き） ➢ タカラ食品（脱炭素の取組について） ● ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 県、市町村、金融機関でグループを構成し、ワークに取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークショップの目的および進め方の説明 ● ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ➢ 県、市町村、金融機関でグループを構成し、ワークに取り組む

研修次第

時間		区分	内容	メインスピーカー
13:00～13:03	3分	—	研修開催にあたってのご挨拶 (三好市環境課 片山様)	三好市
13:03～13:10	7分	講義	趣旨説明、第1回研修の振り返り （県の支援メニュー、先行事例等）	徳島県
13:10～13:30	20分	講義	ネイチャーポジティブ (株式会社sustainalife 代表取締役 谷様)	(株)sustainalife
13:30～14:10	40分	講義	「百年の森林構想」から「生きるを楽しむ」へ 地域資源を活かした村の取組 (岡山県西栗倉村 副村長 上山様)	西栗倉村
14:10～14:20	10分	ワーク	アイスブレイク	徳島県
14:20～14:50	30分	ワーク	個人ワーク ・ワークシートを用意し、設問に従って個人ワークを実施していただく	徳島県
14:50～15:00	10分	—	(休憩)	—
15:00～15:30	30分	ワーク	グループワーク ・個人ワークでの検討内容をグループで共有し、議論を行う	徳島県
15:30～16:00	30分	ワーク	成果発表 ・グループワークの結果を発表する	徳島県
16:00～16:10	10分	ワーク	成果発表へのフィードバック	徳島県
16:10～16:20	10分	—	ワークショップのまとめ、今後の見通し	徳島県
16:20～16:30	10分	—	アンケート回答・解散	デロイト

将来的な方向性



脱炭素に関するセミナー
ワークショップ



地域特性に応じた事業者支援

